

事業評価						
事業名	白い森ブランド構築事業					
事業年度	令和元年度					
事業期間	H30年度～平成32年度					
地方創生 推進交付金 事業費	交付対象事業 総額	1 4 3, 8 4 8, 0 0 0 円				
	令和元年度計画額 (交付予定額)	5 0, 1 4 2, 0 0 0 円 (2 5, 0 7 1, 0 0 0 円)				
	令和元年度実績額 (交付額)	4 8, 5 6 2, 6 1 0 円 (2 4, 2 8 1, 0 0 0 円)				
重要事業 評価指標 (KPI)	指標名	事業開始前 (計画策定時点)	事業終了時 目標値	R1年度 目標値	R1年度 実績値	R1年度 達成状況
	地域総合商社の売上 (百万円)	0	54	4	4	達成
	地域総合商社町内取引事業者 数(事業所)	0	8	3	4	達成
	1人当たり町民所得 (万円)	246	247	246	270	達成
	本事業の実施によりイベント に関わった者の数(人)	0	2,000	1,500	1,280	概ね達成

所管課評価	達成状況	2	← 1 目標以上に達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった
	達成状況 の要因	農林水産省の補助事業により開発した特産品を本交付金を使ってPRする等の連携を行った。 住民や事業者への丁寧なヒアリングや説明会により、目指す方向性の共有を図った。	
	課題等	新型コロナウイルスの影響により、予定していた事業実施ができなかった。	
	今後の 取組の方針	小国町地域総合商社について、既存第3セクターとの統合を見据えた業務連携を行い、観光交流施設の有効活用を図る。	

委員評価
・ 地方版総合戦略のKPI達成に有効であったとの意見 ・ 効果検証において「改善が必要」との指摘事項はなく、事業は適切に実施されている。

地方創生推進交付金を活用した 取組の状況について

・白い森ブランド構築事業 2019年度分

令和 2 年 2 月 1 7 日

小 国 町

白い森ブランド戦略室

町民の自発的な活動への支援に係る取組み

白い森まるごと塾の開催

おもに町内事業者、生産者等を対象に今後のビジネスにつながるセミナーを開催することで、地域経済の活性化と町民が一体となって白い森ブランドをつくりあげる気運を醸成する。

■ 実施結果

Vol. 9 「小さくても強い会社になる方法」 意食充 (株)取締役会長 石井宏和氏 参加者 35名

Vol.10 「今日からできる！手書きPOP講座」 手書きPOPデザイナー 遠藤みさき氏 参加者 25名

Vol.11 「ブランディングのためのPDCAサイクル」 (株)ファームフェス 取締役CMO 岡崎慎祐氏 参加者 27名

Vol.12 3月開催予定

白い森おぐにビジネス創出塾の開催

小国の優れた地域資源等を活用した多様なビジネスの創造と、その実現に向けたチャレンジを支援。コンテストはVBM(仮想経営会議)の形式をとり、各ビジネスプランについて、支援者、審査員がその場で実現化に向けたブラッシュアップを行って、優れたプランに賞品を授与。コンテスト後も支援者によるサポートを継続している。

■ 応募数：起業・創業部門 4名、起業アイデア部門 3名

■ コンテスト：R2.1.25(土) 支援者 5名 審査員 2名 来場者 約20名

最優秀賞(賞金30万)1名、優秀賞(10万)1名、起業アイデア賞(5万)1名、オーディエンス賞(賞品)1名



白い森おぐにの認知度向上に係る取組み

白い森おぐに 新潟・山形交流 ダンスフェスタの開催

新潟・山形両県の交流の輪を広げ、主たるマーケットである新潟圏での認知度向上を図るため、昨年度より開催。今年度はさらに特産品のPRに力を入れ、道の駅等の直売所への誘導も図った。

- 開催日：令和元年10月6日(日)
- 参加者：ダンスパフォーマー 8団体（山形 5・新潟 3） 240名 観客その他含め 計 730名
- 内 容：ダンスパフォーマンス、総踊りによる交流、白い森おぐに特産品の試食、餅まき(割引券)による直売所への誘導



白い森まるごとfestaの開催

白い森ブランドとして新たに発売した商品を紹介し、白い森まるごとブランドを広く内外に発信する機会として初めて開催したが、台風接近により来場者が少ない状況であった。

- 開催日：令和元年10月12日(土)～13日(日)
- 内 容：新商品の試食・展示販売（白い森の白いわらび餅、白い森のきのこハウス）
小国食材を使ったハロウィンディナー、雑穀ランチ
ダンスイベント（台風接近により中止）、カボチャランタンづくり
白い森ロゴバックづくり、SNS投稿キャンペーン
- 参加者：ハロウィンディナー 31名、ロゴバックづくり 89名 その多来場者 多数
- 売り上げ：白い森の白いわらび餅 143,000円 白い森のきのこハウス 33,000円



白い森おぐにの認知度向上に係る取組み

白い森×GoldenFestaの開催

昨年度訪問し、将来の友好都市を目指し交流を図っているゴールデン市の産業や文化、昨年度訪問時のP Rの様子等を紹介するイベントを開催し、町民に白い森おぐにの良さを再認識し、ゴールデン市を身近に感じてもらう機会とする。

- 開催日：令和2年3月8日(日)
- 会 場：道の駅 白い森おぐに
- 内 容：写真や手書き地図の展示、ゲストスピーチ、特産品P R、クアーズビール等の提供、英語と親しむキッズスペース設置



スノーボードイベントの開催

白い森おぐにの地域資源である横根スキー場の魅力向上と、スノーボード人口の拡大とレベルアップを図るため、町内外を対象としたスノーボードイベントを開催する。

- 開催日：令和2年3月8日(日) * 降雪状況によって実施不可の可能性あり
- 会 場：横根スキー場 ハーフパイプ
- 内 容：プロボーダーによるレッスン、ミニ大会



HALFPIPE-LESSON
in SHIROIMORI ☆ OGUNI

オリンピックメダリスト平野歩夢選手が
練習を重ねた小国町横根スキー場ハーフパイプで
PSA ASIA 所属プロボーダーによるレッスンと
大会形式の成果発表でステップアップ!

ハーフパイプを
もっと楽しもう!!

期日: 令和2年3月8日(日)
場所: 山形県小国町
横根スキー場ハーフパイプコース
対象: 小学生から20代前半まで、公
式大会エトリやレバ777を目指す
方
参加費: 無料
定員: 25名
申込み: 募集の申込書により2月25日
までに事務局へお申し込み下さい

当日スケジュール
【9:30~10:50】受付
ハーフパイププロボーダー陣に集合
【10:30~】レッスン開始
当日着てからレベルにあわせてクラス分け
【14:00~】成果発表
大会形式で、ディディオンには賞品も!
【15:00】終了予定

【小国町スノーボードイベント実行委員会】
小国町、小国町観光協会、あぐに白い森株式会社、有限会社白い森よこね観光振興局
【イベントサポーター】
山形県スポーツコミッション・スポーツ山形21
PSA ASIA (プロスノーボーダーズアソシエーション アジア)
《申込・問い合わせ》〒989-1363 山形県東根郡小国町大字小国小国町2-70
小国町スノーボードイベント実行委員会事務局 (小国町産業振興課 観光振興課内)
TEL: 0233-182124 / FAX: 0233-18215444 E-mail: kangyo@town.oguni.yamagata.jp
《山形県小国町ホームページ》http://www.town.oguni.yamagata.jp

白い森の国”ふるさと”おぐに”フォトコンテストの開催

- 応募人数・作品数：一般の部：56人 168点 町民の部：5人 12点
- 応募者：山形県内、新潟県、福島県、千葉県、東京都 ほか

白い森おぐにプロモーション活動の概要



ふるさと交流ショップ台東出展（東京都台東区）

- R1.6.6（木）～6.11（火）＊来店者 1,000人
- 白い森おぐにPR、特産品販売
- 売り上げ：924,100円
- 人気商品
：山菜（わらび、路）、
あく抜きわらび、生しいたけ、
戻しきくらげ、漬物、笹巻き、
アスパラ、いちご、お菓子



NSTまつり2018への出店（新潟県新潟市）

- R1.9.28（土）～9.29（日）
- 秋イベントPR、特産品販売
- 売り上げ：178,200円 チラシ等配布：1,120枚
- 人気商品：やまがた芋煮、生しいたけ、戻しきくらげ

若葉台団地秋まつり出店（東京都稲城市）

- R1.11.3（日）
- 白い森おぐにPR
特産品販売
芋煮振舞（120食）
- 売り上げ：144,000円
- 人気商品
：生しいたけ、わらび水煮



町イチ！村イチ！2019出展（東京都渋谷区）

- R1.11.30（土）～12.1（日）
- 白い森おぐにPR、特産品販売（きのこ関連）
- 売り上げ：157,500円（商品は完売）
- 人気商品
：戻しきくらげ、生しいたけ、白い森のきのこハウス

assh新春フェスタへの出店（新潟県新潟市）

- R2.1.11（土）～1.12（日）
- 白い森おぐにPR、特産品販売
- 売り上げ：75,500円
- 人気商品：白い森のきのこハウス、乾燥きくらげ

その他プロモーション

- 雑誌広告
「月刊CARELL」
6/20・10/20発売号（春・秋の観光PR）
「Luccica（ルチカ）」仙台市フリーマガジン
9月号（東北中央道開通・森林セラピー周辺PR）
- 新潟駅サインージ広告（4/17～6/16）
駅構内電子看板への広告掲載（15秒CM、ポスター）
- 新潟日報 朝刊テレビ欄広告（6/1～6/30の隔日）
白い森まるごとブランドポータルサイトへの誘導広告
- テレビCM
Teny 10/1～10/31、3月下旬予定
NST 9/26～9/30

白い森おぐにまるごと体験・交流事業

若い世代を中心に、本町を訪れ町の魅力である人材、景色及び食材等を存分に堪能することで小国町をまるごと体感・認知してもらうとともに、首都圏の本町ファン同士等が交流することで参加者が関係人口となり、町のPRや情報発信はもちろん、将来的な移住定住につなげていく

- 委託先：NPO法人東北開墾
- 実施内容：小国町内での体験ツアー
年3回開催予定
参加者 現在4名
首都圏でのイベント
6月、8月、11月の年3回
参加者 延べ72名



白い森おぐに食材PR業務

首都圏において白い森おぐにの食材の魅力をPRし、ファンの獲得につなげるため、都内飲食店に委託し小国食材を使ったメニュー開発とオリジナルメニューの提供を行った。

- 委託先：Tregion株式会社
- 期間：令和元年11月27日(水)～29日(金)の3日間
- メニュー：料理 6種 (7食材、3事業所)
酒 3種 (1事業所)
- 提供数：80



白い森ブランドの商品、サービスの拡充に向けた取組み



小国町付加価値向上推進補助金

町内事業者が商品やサービスの付加価値を高めるため、商品パッケージのリニューアルや広告媒体の製作など、町内製品及びサービスのデザイン力や魅力向上等を図ることを目的とした事業を支援する。

- 対象事業：クリエイターバンクを活用した付加価値を高めるための事業
その他、商品やサービスの付加価値向上に資すると町長が認める事業
- 補助金額：補助対象経費の2分の1、または10万円のいずれか少ない額
- 申請状況：2事業者より申請済み（ほか問い合わせ数件あり）

産学官連携によるファーストファニチャーデザイン・製作及び贈呈

町と東北芸術工科大学及び(株)オカムラとの連携協定に基づき、本町の木材を利活用した木工産業の振興や、小さいうちから町産木材と触れ合うことによる木工製品・地元への愛着を醸成するため、3歳児を対象に町内産木材を使用した家具を贈呈する。

- 対象者：3歳児 45名
- 贈呈品：tite（トルテ）
（芸工大の学生がデザインした親子用イス）
- 贈呈式：R2.3.7(土)



商品やサービスのデザイン力・魅力UPに、
付加価値向上推進事業補助金を活用ください

白い森ロゴマークやクリエイターバンクを活用して、商品パッケージのリニューアルや
広告媒体の製作など、商品およびサービスのデザイン力や魅力向上を目指す事業を
支援します。

対象者

- ・ 町内に事業所を設置する個人又は企業等

対象となる事業

- ・ クリエイターバンクを活用した付加価値を高めるための事業
- ・ その他、商品やサービスの付加価値向上に資すると町長が認める事業
- ※ デザインには白い森ロゴマークを使用するよう努めなければなりません。

対象となる経費

- ・ 報償費
- ・ 印刷製本費
- ・ 広告料
- ・ 消耗品費
- ・ 使用料及び賃借料
- ・ その他

デザイナーへの謝礼等
パッケージ、広告媒体印刷費等
新聞、テレビ、ラジオ等の広告宣伝費
用紙代等
会場使用料、設備賃借料等
町長が必要と認める経費

補助金額

- ・ 補助対象経費の2分の1、
または10万円のいずれか少ない額

販促物のリニューアル
商品パッケージの変更

<お問い合わせ>
小国町役場 白い森ブランド戦略室
〒999-1353
山形県西田河郡小国町大字小国2-70
Tel. 0238-87-0821 Fax. 0238-82-5464
E-mail: mrai@town.oguni.yamagata.jp

白い森

地方創生推進交付金を活用した 取組の状況について

・移住定住・人材確保戦略的展開事業 2019年度分

令和 2 年 2 月 1 7 日

小 国 町

政 策 企 画 室

町内企業求人プラットフォーム運用業務委託

昨今の国内経済状況が好調を維持しており売り手市場になっていること、本町の企業等が人材確保手段として活用しているのが主にハローワークであることなどから、SNSやスマートフォンを活用し求人情報を得ている若者の人材確保が困難となっている。

このため、平成30年度に求人プラットフォームを構築し、県外の若手求職者等にも広く周知している。今年度は引き続き、町内企業等の採用担当者がSNSやスマートフォン等のWeb上での採用ノウハウを蓄積し、求人サイトを自ら編集・活用することにより、安定して継続的な町内の雇用・人材確保につなげる。

- 委託先：ビズリーチ（株）
- 求人数：町内9件掲載
- 閲覧数：
- URL：<https://jp.stanby.com/feature/town-oguni-yamagata>



「白い森の国」でやさしい暮らしー山形県小国町求人特集ー

奥深い山々、広大なブナの森に囲まれた小国町。冬はしんと降り積もる雪が、あたり一面を真っ白に覆います。そこはまさに「白い森」。豊かな雪どけ水は、山の幸・川の幸や圧倒的に美しい四季の彩りとともに、その水力を活用した世界でも通用する最先端素材産業による恵みを小国の町にもたらしてくれます。「都会の喧騒を離れて、真の意味で豊かに暮らせたら。」そんな思いを抱いている人や、これから田舎に移住を考えている人、自然の中で暮

小国町移住ガイドブック「おぐにつき」作成

白い森おぐにのイメージや魅力をより見やすく、わかりやすく伝えるとともに、若い世代に手にとって見てもらえるデザインによる、移住ガイドブックを作成した。

町の情報はもちろん、移住者の事例や移住支援制度の内容、雪国での生活マニュアル等も掲載している。

- 印刷発注先：（有）加藤印刷



移住フェアへの出展

山形県や（一社）移住・交流推進機構（JOIN）等が主催する各種移住フェアへ出展し、移住希望者とのマッチングなどを図る。

- やまがたハッピーライフカフェ : 7月13日（土）、ふるさと回帰支援センター、叶水の増田さんご夫妻がゲスト講演
- 東北U・Iターン大相談会 : 7月28日（日）、ふるさと回帰支援センター、登山やトレッキングをテーマに出展
- 地域の魅力発見フェア : 8月24日（土）、六本木ヒルズ、猟友会（マタギ）の蛸原さんゲスト
- やまがた暮らし相談会 : 12月1日（日）、ふるさと回帰支援センター、日本重化学工業の高橋さんゲスト
- JOIN移住・交流&地域おこしフェア : 1月26日（日）、東京ビッグサイト、地域おこし協力隊及び小国地産の山中さんゲスト
- 地域の魅力発見フェア : 2月22日（土）、AP市ヶ谷（参加予定）

上記移住フェアでの小国ブース訪問者は、49組53名となっている。

Uターンきっかけづくり業務委託

30歳となる町出身者を対象に、町内企業の説明、婚活などを兼ねた同窓会イベントを行い、現在町外に住んでいる出身者が結婚前に小国にUターンし就業するきっかけをつくる。
また、対象者の連絡先（メールアドレス）等を確保することにより、定期的な町へのUターン及び町内企業の情報発信を行う。

- 委託先：小国町商工会
- 開催日：令和元年8月14日(水)
- 内 容：30歳同窓会を開催
 - ・町内企業の情報・事業内容説明
 - ・Uターン意思確認等のためのアンケート実施
 - ・人材確保に関する資料配付
- 参加者：27名



おぐにらしい暮らし方・働き方モデル調査業務委託

本町への移住・定住施策の促進、本町の労働力不足の解消にあたり、複数就労（マルチワーク・ダブルワーク）による働き方の在り方についての検討・調査を行い、本町における導入可能性についてとりまとめるとともに、本町におけるダブルワークの実施組織の事業スキームについて検討する。同時に、本町における暮らし方と都市における暮らし方を比較し、本町特有の暮らし方について整理し、PR手法の一助とする。

■マルチワークとは？

- 委託先：ランドブレイン（株）仙台事務所
- 実施内容
 - ・複数就労の事例調査
 - ・町内事業者等の意向調査
 - ・都市部のニーズ調査
 - ・モデルケースの構築
- 今後の課題
 - ・受入体制の検討・構築
 - ・受入環境（住宅、地域との関わり）の整備
 - ・試行的な取組みの実施



■想定する現時点でのマルチワークのターゲットについて
(調査の結果変更する可能性もあります)

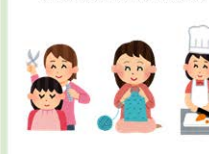
①町内出身者の都市部在住者 (30～50歳代)



②都市部の若者



③手仕事志向の女性



例えばですが、町内出身者や 都市部の若者 手仕事志向の女性をターゲットとし、町内で働きたくなるようなマルチワークのプランや 小国の働き方について検討していく予定です。(ターゲットについては変更の可能性もあります。)